

## 元気で歩こう会 東大農場・演習林でナンジャモンジャを観よう！ 23. 5. 12



南部地域センター⇒パークヒルズひばりヶ丘⇒西東京いきの森公園⇒東大農場・演習林⇒西原自然公園⇒南部地域センター

歩行距離 約7キロ

あいにくの小雨、それでも28名がナンジャモンジャの花見たさに集まりました。

丁度見ごろでした。学名はヒトツバタゴ（モクセイ科）、ナンジャモンジャとは、見馴れない種類の大木という意味の”何というものか？”の意…だそうです。英語では雪のように白い花が樹冠に咲くことから snow flowerとかchinese fringe tree と呼ばれています。九州、朝鮮半島や中国、台湾で多くみられるそうですが、関東では珍しい樹木です。

元気で歩こう会も今年で4年目、この5月は決まって当地を訪れ、ナンジャモンジャを観るのが定番です。

この日、雨にぬれた樹木の中の散策はまた格別でした。いつもは感じない森林の緑の精たちに囲まれて、元気を貰った一日でもありました。

(すべての画像はクリックすると拡大してご覧になれます)



遠くで見ると白さが目立ちます。



樹冠は白く雪が積もったようです。



やはり異様な”何じゃろう？”という純白の冠をつけた木ですね。



近くで見ると、花の一つ一つは、モクセイの花よりやや大きく、コブシに似たような花で、異様でもなんでもありません。



樹幹も普通の木と変わりありません。



という訳で、雨中の散策はナンジャモンジャに始まって、ナンジャモンジャに終わりました。何回見ても不思議な花です。皆さんも機会があったら是非ご覧になって下さい。